

〇〇大学法科大学院機能強化構想調書

(法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム)

1. □□研究科△△専攻における教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性  
(最大文字数 600 字以内で記載)

教育理念（教育方針）及び今後目指すべき方向性

2. 今後 5 年間（2024～2028 年度）の機能強化構想  
(最大文字数 600 字以内で記載)

機能強化構想

構想を実現するための区分、取組

区 分				
取 組				
取組の 内容	目標値を達成するための取組の内容を 500 字以内程度で記載			
	重要度	基準値	目標値（最終）	
	○%	xx%	xx%	
各年度 の目標 値	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
KPI の 考え方	<p><b>【基準値】</b> 設定した基準値の妥当性、考え方（根拠）を 500 字以内程度で記載。</p> <p><b>【目標値（最終）】</b> 設定した目標値（最終）の妥当性、考え方（根拠）を 500 字以内程度で記載。</p>			

実績	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
	自己評価				
自己評価の判断理由					

※区分、取組が増える場合は、上記様式をコピーして作成。

※区分は 2 個以上を設定し、取組数は合計 6 個以下を目安とする。

(例)

- ・区分を 6 個選択した場合は、各区分の取組数は 1 個となる。
- ・区分を 3 個選択した場合は、各区分の取組数は合計で 3 ～ 6 個となる。

※グレーの箇所は記載不要。

※重要度は全取組の合計が 100%になるように設定。

【機能強化構想充実分】

区 分	
取 組	
取組の内容	<p>「期待される成果等」に記載されていることを達成するための取組内容を 500 字以内程度で記載</p>
期待される成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値目標が記載できる場合は、数値の妥当性について説明（300 字以内程度）。</li> <li>・ 取組実施後の期待される成果や効果を説明（300 字以内程度）。</li> <li>・ 年度毎の目標（定性的なものを含む）が設定できる場合は、年度毎の具体的な目標を記載。</li> </ul>
自己評価 (実施状況、成果等)	

※区分、取組が増える場合は、上記様式をコピーして作成。

※取組数は合計 2 個以下を目安とする。

※グレーの箇所は記載不要。